【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和6年5月16日(2024.5.16)

【国際公開番号】WO2023/022201
【出願番号】特願2023-542443(P2023-542443)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/18(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/18

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月23日(2023.10.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
支持体に分離可能に支持された転写箔であって、
前記転写箔は、前記支持体側から順に、第一の樹脂層と、第二の樹脂層と、レリーフ形成層とを有し、
前記第一の樹脂層は、ガラス転移温度Ｔｇが９５℃以上のアクリル樹脂から構成され、
前記第二の樹脂層および前記レリーフ形成層は、前記アクリル樹脂と、水酸基の一部をウレタン架橋させたセルロースエステル樹脂との混合物から構成され、
前記第二の樹脂層の融点は、前記レリーフ形成層の融点よりも高い、
転写箔。
【請求項２】
前記アクリル樹脂は、メタクリル酸メチル（ＭＭＡ）のモノマーのみが重合された重合体である、
請求項１に記載の転写箔。
【請求項３】
前記第二の樹脂層における前記セルロースエステル樹脂の混合割合が、前記レリーフ形成層における前記セルロースエステル樹脂の混合割合よりも大きい、
請求項１または２に記載の転写箔。
【請求項４】
前記セルロースエステル樹脂は、セルロースアセテートブチレート、セルロースアセテートプロピオネート、硝酸セルロースの中の少なくとも１つを含む、
請求項１または２に記載の転写箔。
【請求項５】
前記セルロースエステル樹脂の混合割合が、前記第二の樹脂層において４０％以上９０％以下であり、前記レリーフ形成層において１０％以上６０％以下である、
請求項１または２に記載の転写箔。
【請求項６】
前記ウレタン架橋がベンゼン環を有する、
請求項１または２に記載の転写箔。